

NEWSLETTER

良い風土、こだわり、らしさの醸成

— 日々の行動を通じて、私たちにいい風土をつくる —

当社では、全社方針の一つとして「良い風土、こだわり、らしさの醸成」を掲げています。

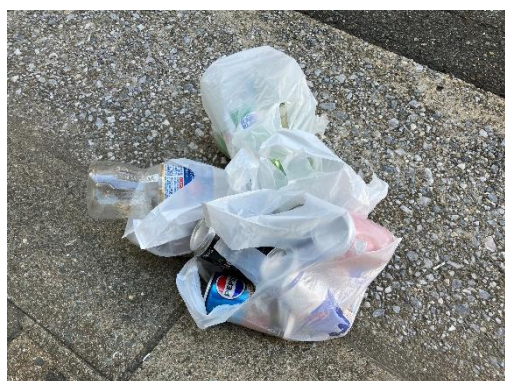
これは、特別なことをするのではなく、日々の行動を大切にし、社員一人ひとりが同じ思いを持って行動することで、私たちにいい会社の風土をつくっていかうというものです。

具体的な取り組みとして、「名前を呼んでの挨拶」、「事業所周りのゴミ拾いと地域の方々への挨拶」、そして「これだけはやらない」という行動を全社で定め、実践しています。いずれも一部の社員だけが取り組むのではなく、全社として行動を徹底することを決めたものです。

名前を呼んでの挨拶では、役職や年齢などに関係なく、必ず相手の名前を呼んで挨拶することを大切にしています。毎日の何気ない挨拶ですが、顔を見て名前を呼ぶことで、互いを尊重する風土につながっていると感じています。



また、博多駅近くにある本社では、事業所周りのゴミ拾いを毎週金曜日に実施しています。博多駅周辺は観光客やインバウンドの方も多く行き交う場所ということもあり、意外と多くのゴミが落ちています。普段歩いているだけでは気づかないような場所にも目を向けながら、みんなで清掃を行います。清掃を終えてきれいになった通りを見ると、不思議と清々しい気持ちになります。自分たちが働く場所を自分たちの手できれいにすることは、地域への感謝や、地域の一員としての意識を持つことにもつながっているように感じます。



さらに、「これだけはやらない」という項目についても、社員みんなで考え、決めたことを日々の行動として徹底しています。私たちが大切にしている価値観を共有し、私たちにいい風土を少しずつ形にしています。

こうした取り組みは、一つひとつを見ると決して特別なことではありません。しかし、日々の行動を全員で意識し、継続していくことが、良い風土をつくり、やがて会社としての「こだわり」や「らしさ」につながっていくのだと思います。

これからも、社員一人ひとりが日々の行動を意識し、私たちにいい会社づくりに取り組んでまいります。